

第 3 回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第 8 条第 1 項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 益田清風高等学校 学校運営協議会 (第 3 回)
- 2 開催日時 令和 8 年 1 月 2 9 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
- 3 開催場所 益田清風高等学校 会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者
会長 森本翔太郎 馬瀬建設株式会社 専務取締役
委員 中村 好一 下呂市教育長
皆越 眞佐代 NPO 飛騨小坂 2 0 0 滝
向野 優子 NPO みらいろ理事長
大坪 孝弘 下呂市萩原振興事務所長
河村 治代 下呂看護専門学校長
佐野 ちあき ホテルくさかべアルメリア職員
長尾 伴文 ぎふ夢教育応援隊
前田 芳隆 下呂市教育委員会
中川 勇 育友会長

学校側 小田 雅人 校長
青木 穰 事務長
石丸 浩国 教頭
井田 誠 教務主任
打保 圭史 生徒指導部長
上田 界堂 進路指導主事
角川 公太 特別活動部長

5 会議の概要 (協議事項)

- (1) 第 1 回学習成果発表会について
- (2) 学校運営協議会主催 防災炊き出し訓練について
- (3) R 7 年度の自校評価について
- (3) 意見交流

6 学習成果発表会について

意見 1

- ・下呂市のために当事者として発表する姿がみられた
- ・子供たちの柔軟な発想力 (大人ができない発想) がよかった。
- ・中学生や地域の方に繋げる。例えば、中学生を呼んで質疑応答させるなどしてはどうか。
- ・中学生や企業を招いて、発表会 (学校行事以外で 公共施設などで) をしてはどうか。

別紙様式 3

意見 2

- ・中学生が動画配信で見るとはなく、実際に目で発表会を見られるとよい。
- ・市のリーダー（市長など）に見てもらえれば実現性が高い。
- ・資金繰りについて…高校生がクラウドファンディングで補うのはどうか。

意見 3

- ・動画配信だけで完結せず、（直接的に）中学生につなげるとよい。
- ・子供が下呂市について知るだけではなく、地域全体の再発見になる。
- ・市長にプレゼン、市の広報活動の一端にするのもおもしろい。
（例えば、「地元の高校生の探究活動」といったコラムなどを掲載するなど）

意見 4

- ・予算捻出が必要になるが、次年度以降も続けてもらいたい。
- ・限られた時間の中で何を生み出すのか、如何にして中学生にみせるのかを生徒には考えてもらいたい。
- ・一般の方にも公開するとよいのではないか。

意見 5

- ・達成感を感じられる会だった。
- ・下級生にバトンを渡す縦のつながり、学科間の横のつながりがより強固なものになると思う。

意見 6

- ・中学校 2 年生に向けてどのようなことを学んでいるのかが分かるようにするとよい。
- ・中学生の志望校の候補一つに挙げるようになるのではないかと。

意見 7

- ・中学生もプレゼンテーションの力が付いているので、高校で更に伸ばしてほしい。
- ・小坂学と言って小坂について学び、研究しているので、高校でも継続してほしい。

意見 8

- ・このような会場で行うと、校内で行うよりも緊張感をもって行えるので、良かった。
- ・大人ができない着眼点で、よりよいまちづくりにつながっていくと思う。

7 防災炊き出し訓練について

意見 1

- ・今年は高校生主体で、学校運営協議会の支援で実施します。
- ・こうした活動を通して地域の核となる高校になって欲しい。

意見 2

- ・高校生の学びの場になると良い。
- ・炊き出し訓練による、生徒が作る豚汁は数に限りがあるので、大勢の人が集まると足りない可能性があるが、リサイクル等については SNS 発信してもよいのではないかと。

8 学校評価について

意見 1

- ・来年度予定している文化祭は、休日実施することや、スマホの自己管理は、よい変化だと思う。
- ・授業公開を地域の方に公開したらどうか。
- ・中学校に情報モラル講座など次年度も実施してほしい。

別紙様式 3

意見 2

- ・文化祭は、テーマなどの制約をしない方が幅が広がり、生徒もより活発に活動できるのではないかと。
(例えば、食品販売など)

意見 3

- ・コミュニケーション能力の育成について、下呂看護専門学校にはメリットがあるので、協力させていただきたい。

9 会議のまとめ

令和7年度第3回学校運営協議会が開催され、学習成果発表会参観の後、学校の現状報告と委員・職員による意見交換を行いました。また、今年度実施予定の炊き出し訓練については計画を確認し、全委員から理解と承認を得ました。

協議では、高校の魅力ある学校づくりを進めるための方策について活発な意見交換が行われました。特に、生徒と地域、関係機関との連携を強化し、地域と協働する機会を増やすことの重要性が確認されました。さらに、高校生の活動を積極的に中学生や地域に発信することで、入学希望者の増加や学校全体の魅力向上につながるとの認識が共有されました。

以上の協議を通じて、炊き出し訓練計画の承認、地域連携・協働の推進、高校生の活動発信強化という方向性が確認されました。